



あれから1年、 多くの命が脅かされてから。

—ウクライナ人道危機への救援活動報告—

突然変わってしまった世界は、たくさんの命を奪い、
たくさんの命の危機を生み出していました。
赤十字は、皆様の支援を基に、
命を救うための活動を行ってきました。
避難、住居、水、食料、医療、捕虜訪問、
さまざまな形の支援は、多くの命を救い続けています。

©IFRC/Marko Kocic

世界中の皆様のご支援が、多くの人の命と暮らしを守っています。

(2022年12月31日時点)



避難・移動支援
80万5,000人

戦闘地域からの避難や国内外への移動を支援しています。移動の要となる場所で「人道支援サービス拠点」を設置し物資や情報も提供しています。



保護活動
24万5,000人

脆弱な立場にいる人々の保護のため、子どもたちのストレスケアや、性暴力被害者のケア、捕虜訪問、離散家族支援などを行っています。



居住支援
189万人

仮設住宅、宿泊施設の提供、家屋の修繕支援、発電機やストーブなどの配付により住環境を確保しています。



物資など基本的支援
1,455万人

生活に必要な物資や食料、水、衣服、毛布などのほか、通信に必要なSIMカードなど、幅広い物資を届けています。



安全な水の提供
1,060万人

給水施設の破壊に伴い、給水タンクや浄水剤、衛生用品の配付や水道の復旧などを行い安全な水を提供しています。



保健医療支援
119万人

避難民向けの巡回診療や訪問看護などの医療サービス、医療施設への医薬品や医療機器の提供を行っています。

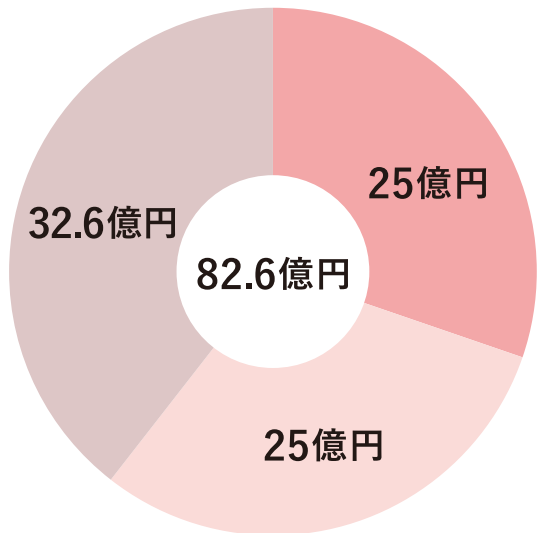


現金給付支援
120万人

収入が絶たれた避難民などに対して現金や引換券などを給付し、個々のニーズに合わせた支援を行っています。

日本赤十字社にお寄せいただいた救援金は
ウクライナ国内の紛争地域から周辺国の避難地域まで、
幅広い支援活動に活用されています。

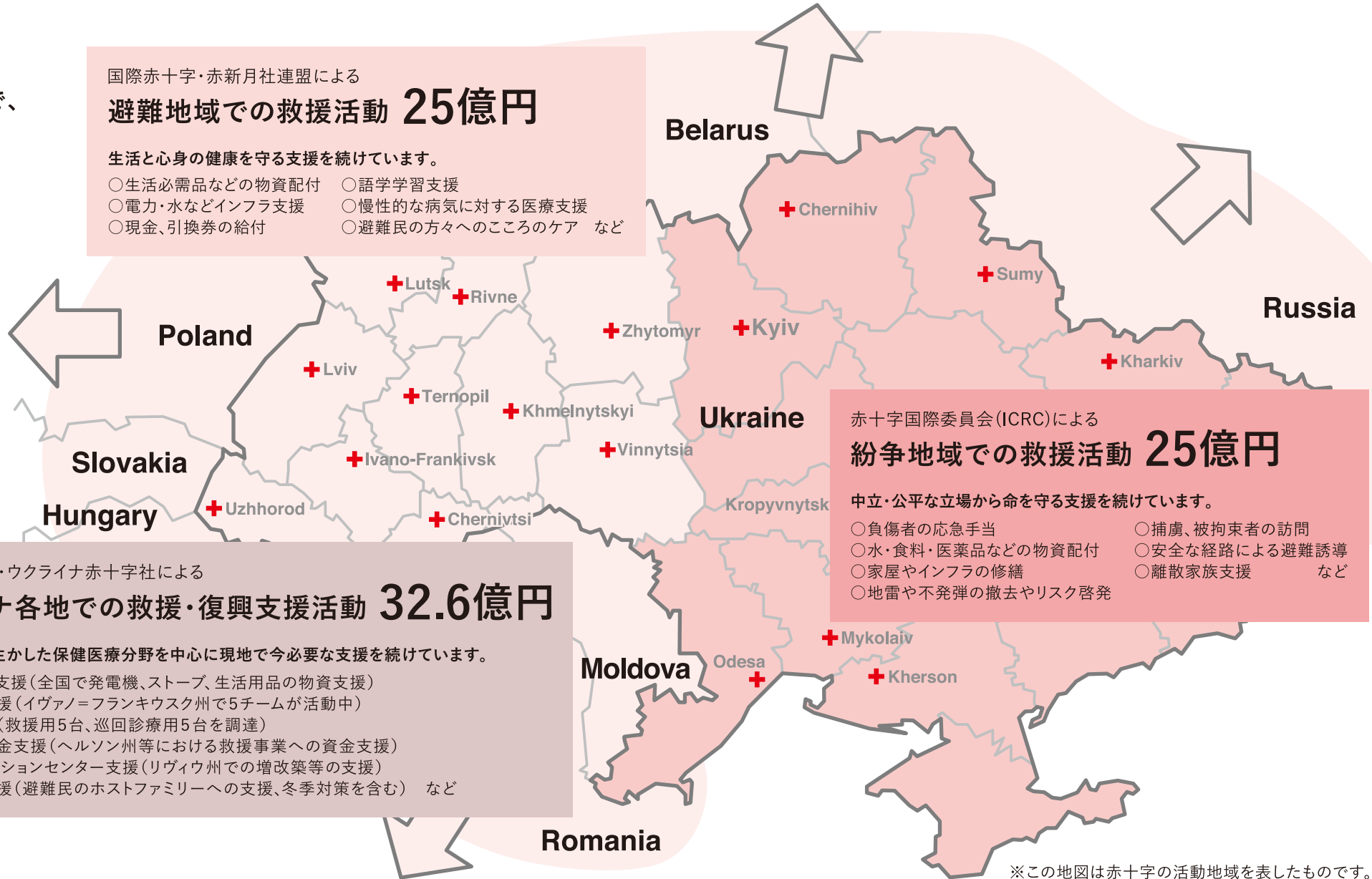
ウクライナ人道危機救援金
82億5,657万9,745円
(2月1日時点)



■ 紛争地域での救援活動
■ 避難地域での救援活動
■ ウクライナ各地での救援・復興支援活動
※活動などにかかる事務経費を含む

国際赤十字・赤新月社連盟による 避難地域での救援活動 25億円

生活と心身の健康を守る支援を続けています。
 ○生活必需品などの物資配付 ○語学学習支援
 ○電力・水などインフラ支援 ○慢性的な病気に対する医療支援
 ○現金、引換券の給付 ○避難民の方々へのこころのケア など



日本赤十字社・ウクライナ赤十字社による ウクライナ各地での救援・復興支援活動 32.6億円

日赤の強みを生かした保健医療分野を中心に現地で今必要な支援を続けています。
 ○厳冬期対策支援(全国で発電機、ストーブ、生活用品の物資支援)
 ○巡回診療支援(イヴァノ=フランキウスク州で5チームが活動中)
 ○救急車支援(救援用5台、巡回診療用5台を調達)
 ○緊急対応基金支援(ヘルソン州等における救援事業への資金支援)
 ○リハビリテーションセンター支援(リヴィウ州での増改築等の支援)
 ○現金給付支援(避難民のホストファミリーへの支援、冬季対策を含む) など

赤十字国際委員会(ICRC)による 紛争地域での救援活動 25億円

中立・公平な立場から命を守る支援を続けています。
 ○負傷者の応急手当 ○捕虜、被拘束者の訪問
 ○水・食料・医薬品などの物資配付 ○安全な経路による避難誘導
 ○家屋やインフラの修繕 ○離散家族支援 など
 ○地雷や不発弾の撤去やリスク啓発

※この地図は赤十字の活動地域を表したものです。

今もなお多くの方が助けを必要としています。引き続き皆様のご支援をお願い致します。
活動の詳細や現地からの声、ご支援方法等は右の二次元コードから特設サイトをご覧ください。



人間を救うのは、人間だ。

